



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R3. 11. 12(金) No.28 小柳 弘志

みなみあそボランティアまつり

11月7日(日)暦のうえでは立冬でしたが、前日の風雨の影響もなく、温かい1日でした。

心地良い風が吹くなかで久木野総合福祉センターにおいて「みなみあそボランティアまつり」が開催されました。去年は新型コロナ対策のため、中止になった行事ですが、今年は対策をしっかりと取られて実施されました。

溜池先生、村上先生、そして吹奏楽部のみなさんは開閉開式で演奏や合唱も行いました。加えて、ボランティアスタッフとしてまつりの成功に協力してくれました。

本校でも、防災教育を進めています。このまつりでも「災害救助用炊飯袋ハイゼックスを使った炊飯体験」がありました。特殊なビニール袋に米を1合入れ、水を入れて輪ゴムで縛ってお湯で炊き上げました。また、本校でも「フラワープロジェクト」で地域に花を届ける活動を生徒会が始めましたが、この祭りでもビオラの花苗やチューリップの球根を植えました。

吹奏楽部のみなさんの活躍に参加された方々から感謝の言葉をいただきました。



3年生租税教室

3年生は入試に向けての勉強も本格的になってきました。先日の3年共通テストや来週17～19日にある3年期末テストの結果にも表れる学力は合否基準の大きな要素になりますので頑張ってください。

ところで入試では教科の学力の他に面接や作文、プレゼンテーションなどがある高校もあります。そのときに力を発揮するには、教科の学習以外の道徳、学活、総合的な学習の時間、学年行事、学校行事での各々の取組が重要になります。

11月8日(月)に3年生は租税教室があり、税務署から来られた講師の話の話を聞きました。これは夏休み前から行われている租税教育の一環で行ったものですが、「講話の後の質問など積極的でした。」と担当の赤池先生や税務署の方から聞きました。この学習を通して私たち大人も“ハッ”とさせられるような素晴らしい感想を中学3年生が持っていることに感心します。



※ 裏面には、今年9月までの取組で3年生が書いた「税の作文」の一部を載せています。

3年生税の作文より一部抜粋

・私は税金に対してあまり関心がなく、最近まで、「ああ、消費税10パーセントに上がったんだなあ。」くらいにしか考えていませんでした。しかし、授業で税金について学ぶ機会があり、税金と私たちは大きな関わりがあることに気づきました。

例えば、私は幼い頃によく怪我をしていたのですが、ある時、足をひねってしまい、3万円もする装具を作ることになりました。ところが、その装具はほとんど無償でした。装具のお金は税金で払われていたのです。

他にも、震災で壊れてしまった阿蘇大橋は新阿蘇大橋として開通しました。中学校では生徒全員分のタブレットが配付されました。これらのお金も税金によって支払われています。

両親や国民が払っている税金は意外にも身近に使われていました。私は税金に対して、あまり関心がなかったと同時に良いイメージを持っていなかったのですが、税金は私たちと深い関わりを持ち、快適に暮らすうえで必要なことだと気づきました。いずれ大人になれば、私も税金を払っていくことになります。その時のためにも、税に関する知識を増やしていきたいです。



・「あなたが税について知っていることを書きましょう。」社会の授業のワークシートに書いてあった問いです。私は何も書けませんでした。ここで私は自分が税について何も知らないことに気づきました。社会の先生は私たちに税についての動画を見せてくださいました。

ここで税は公園の整備やごみ収集、医療費、公務員の給料などに使われていることを知りました。そして税の種類は約50種類あることも知りました。もし、税がなかったら、公園で遊ぶ時もお金を支払わなければならないし、救急車に乗る時も多額の料金が発生してしまうそうです。税がないだけで何をしてもお金がかかり、最悪、大切な人の命までも失ってしまうかもしれないと考えると、とても怖くなりました。税金を払う意味をしっかりと理解することがとても重要だと思います。この機会に税について詳しく学べたことをとても嬉しく思います。ですが、私のクラスでも最初、税についてよく知らない人がたくさんいました。もし、この機会がなかったら、一生ただただ税金を払い続けていたと思います。だから、もっと多くの人に税金を払う意味を理解してもらうことも大切だと思いました。最後に、もし、今、社会のワークシートのあの問いに答えるなら私は「税は私が死ぬまでつきあっていかねばならないものであり、税金は人々の思いやりがカタチになり、国を、国民を、未来をより豊かに、過ごしやすくしてくれるものです。」と自信を持って答えると思います。また、多くの人に税についてもっとよく知り、思いやりを税金に込めただけのように、このすばらしい機会をいただいた私たちから税について発信していきたいと思っています。

・私は今まで消費税しか税金を知りませんでした。消費税についても、「なぜ値段よりも高いお金を払わなければならない?」と疑問に思っていました。

しかし、授業で税についての学習をして税について詳しく知ることができました。まず、税に50種類もあると聞いて驚きました。消費税、所得税、法人税などがあり、みんなが公平に負担していることを知りました。

そこで私は税の使われ方に興味を持ちました。調べてみると税は国の収入となり、私たちが安心した豊かな暮らしをするための「会費」となっていることが分かりました。例えば、公共の施設を建てたり、公共サービスを行ったり、社会保障に使われています。私たちの身近な所では教科書や机・椅子などの教育費や、南阿蘇村では18歳までの医療費の負担などがありました。このことを知り、税金は私たちの役に立っていることが分かりました。

税金と自分たちの生活の関わりを知り、いらないと思っていた税金も必要なものだ気づきました。今、私たちが使っているタブレットPCや机や教科書も税金で購入して無料で使わせてもらっているのありがたいと思いました。

自分が大人になった時に子どもたちが私たちのように充実した教育を受けられるように納税したいです。

